

感染症ミニレター



編集/発行 令和7年9月29日

兵庫県伊丹健康福祉事務所

(保健所)健康管理課

TEL 072-785-2371

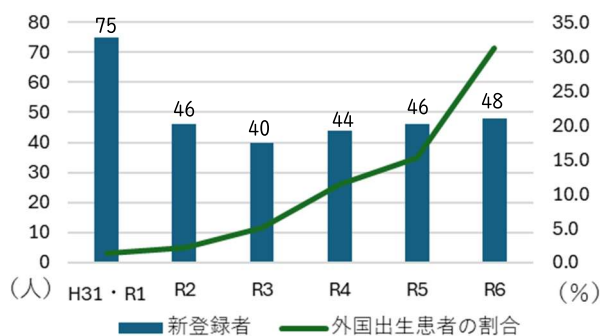
FAX 072-777-4091

～日本もようやく低蔓延国入りしましたが、まだまだ要注意です～

平素より、感染症対策の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

医療機関等における感染対策をさらなる充実のため、結核に関して伊丹健康福祉事務所管内（以下「管内」）の最新情報等をお届けします。

管内結核患者の数及び外国出生の結核患者の割合



令和6年に管内で発生した新規結核患者数(LTBI含む)は、48名でした。

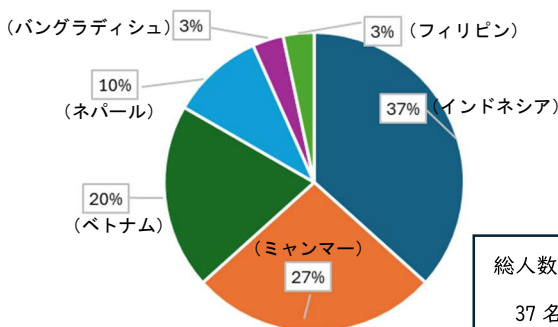
そのうち、外国出生結核患者は15名(31.3%)で10代～40代の若い世代の方でした。



管内の外国出生結核患者は、インドネシア国籍とミャンマー国籍の方が半数以上を占めています。入職時の健診や学校入学前の健診で発見されることが多い状況です。

入国して間もない方も多いので、日本語の理解が難しい方も多いです。

H31～R6年の管内外国出生結核患者の出身国別割合



・薬の量を理解できておらず、1回分を間違える等服薬ミスをしていた患者もいました…。

・喀痰検査が理解できず、容器に水を入れて提出した患者もいました…。

保健師が外国出生患者とコミュニケーションを取るときに気を付けていること

①やさしい日本語を使用する。

例：発病＝病気になる・感染＝ばい菌が体に入った

②1文を短くし、はっきり・ゆっくりと話す。

③相手の反応を見て、困っている顔をしていたら、言葉を置き換える。

④本人の理解度を確認するため、わかったかと聞いても「はい!」と答えてしまうため、何が理解できたか本人の言葉で説明してもらう。

⑤ポケットや携帯の翻訳アプリを活用する。

⑥結核研究所が発行している多言語で作成された媒体を活用する。→

⑦管内で患者が多いインドネシア語やミャンマー語で翻訳している媒体をあらかじめ用意しておく。



結核研究所
ホームページより
QRコード
資料・勧告集



お願い
します

・外国籍患者さんは結核高まん延国から来日していることもあります。

有症状時は、他疾患と並行して結核を疑い、積極的な胸部X線検査・喀痰検査(塗抹・核酸増幅法・培養の3検査)をお願いします!